

2022 年度 小委員会活動成果報告

(2023 年 1 月 22 日作成)

小委員会名	テンション構造小委員会		主 査 名：岡田 章 就任年月：2020 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (シェル・空間構造運営委員会)		委員長名：五十田 博 (主 査 名：川口 健一)
設 置 期 間	2020 年 4 月 ～ 2024 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	ケーブル構造設計指針・同解説の改定を踏まえて、テンション構造の普及に向けて、具体的な設計方法などに関する資料の提示を目的とする。 初年度：改定された指針を踏まえて、設計課題について分析・評価を行う。 2 年度：接合部など具体的に調査・整理を行い、設計資料の目次作成を行う。 3 年度：設計資料の具体的な作成を実施する。 4 年度：設計資料の刊行等での公表及び、講習会等を通じて公開を行う。		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無		
	主査：岡田章(日本大学) 幹事：宮里直也(日本大学)、廣石秀造(日本大学) 委員：中島 肇(日本大学理工学部)、山岸 俊之(清水建設)、矢島 卓(東京製綱)、車 創太(竹中工務店)、福島 孝志(日建設計)、大矢賢史(太陽工業)、中川路 勇(大成建設)、鈴木 実(神鋼鋼線工業)、形山忠輝(日本鑄造)		
設置 WG (WG 名：目的)			
2022 年度予算	90,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：無	

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 初年度、2 年度に引き続き、設計課題について分析と評価を実施した。 2. ケーブルを用いた実施物件について関係者からのヒアリングを通じて、設計課題について議論を行い、その分析・評価を行った。
委員会活動の問題点・課題	1. 全4回、オンライン (Zoomを用いて) で開催したこともあり、小委員会の出席率についても問題無かった。次年度は、対面とのオンラインのハイブリッド開催も実現していきたいと考えている。